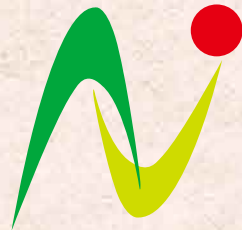


なかがわ

広報

2012. 8



No.83

- 小川地区小学校統合に係る住民説明会 2
- 食中毒を予防するために 4
- 地域振興計画案にご意見を 6
- 再生可能エネルギー発電促進賦課金減免措置 7
- 那珂川町「夢まつり」参加者募集 18



『とちぎ和牛 好きですか〜?』(学校給食とちぎ和牛の目 馬頭小学校)



夏季企画展

平成うなぎ展 —うなぎの謎にせまる— ねこのうなぎ屋

値段が「うなぎ上り」で、最近なにかと話題になるうなぎ。この夏は、おいしい蒲焼きを口にすることができるでしょうか？

うなぎの蒲焼きは、猫にとっても大好物。この絵は明治時代に作られた浮世絵で、うなぎ屋に集う猫たちを描いたものです。その様子をちょっとのぞいてみましょう。

一階の店先では猫が蒲焼きを作っています。手慣れた様子でうなぎをさばく猫や、団扇で煙を扇ぎながらうなぎを焼く猫。その匂いに釣られて「いっぱいやってゆこう」と足を止める猫もいます。

二階では家族で食べに来た猫のお母さんが、「にゃう、にゃう、うまい」とご満悦な様子。お父さんは「たんとお食べな」と気前のいいことを言っています。隣は注文をとりに来た仲居に「にゃまず（なまず）のすっぽん煮もいいね」なんて、慣れた様子の通人たち。「すっぽん煮」は、醤油や酒で煮て、生姜の絞り汁で香りをつけた煮物のことです。

三階にはうなぎに舌鼓をうつ洋服を着た猫。外国猫でしょうか、それとも文明開化でいち早く流行を取り入れた猫でしょうか。隣の部屋では、「どじょうが食べたい」と言っている仔猫がいます。

四階は蒲焼きの皿を前に、「やっど、やっど、どっこいせい」と宴会の真っ最中。その踊りを「えらいもんじゃ」と感心して眺めている猫や手拍子を打つ芸者猫。猫の皮で作られた三味線を弾く猫もいて、ブラックユーモアも感じられますが、みんな楽しそうですね。

どの部屋でも大皿に乗った蒲焼きとどんぶりの白飯が見えますが、江戸時代から明治時代にかけては鰻重や鰻丼ではなく、蒲焼きと白飯を別々に出すのが一般的でした。当時のうなぎ屋の様子や食べ方がわかる、興味深い一枚です。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井 裕子

【広重うなぎ祭り】 8月13日（月）
お盆のため美術館を無料開放します。
また、馬頭高校によるウナギのタッチコーナーや鮎の甘露煮の販売などを行います。



「志ん板猫のうなぎや」四代目歌川国政
(有) 蒲焼大島屋蔵

【会 期】 ~平成24年9月9日（日）
【休 館 日】 8月20日、27日、9月3日
【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
（但し入館は4時30分まで）
【入 館 料】 大 人 500円 (450円)
高・大学生 300円 (270円)

※（ ）は20名以上の団体料金。
※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

ミニギャラリー

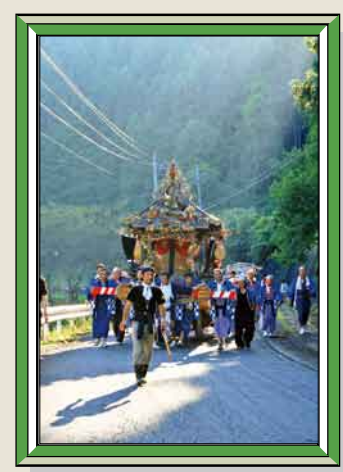
平成23年度
那珂川町観光写真コンテスト受賞作品

ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに展出してみませんか？
絵画、写真、絵手紙、手芸などの作品をお待ちしております。
申込み・問合せ…企画財政課
☎0287-92-1114



優秀賞「夏祭り（御輿が躍る）」
和泉一雄さん（小川）



入選「ふるりの祭り」
森嶋 新勝さん（常陸大宮市）

